学校番号	303

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説日本史』　（山川出版社）						
副教材等	『新詳日本史』　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・グローバル化する国際社会の中で、日本史の中でも地域や時代のみならず、分野別に課題を設定し、歴史的な見方・考え方を働かせ比較したり多面的・多角的な視点から考察することで、課題を設定する力や追究したり解決したりする力を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本史上の様々な分野において地理的条件や世界の歴史と関連付けながら多面的・多角的な視点から理解し、諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史的事象が起きた要因、また意味や意義、影響や特色などを当時の価値観を鑑みた上で、現代社会とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を自身で把握して解決に向けて構想したり、説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
日本史上の様々な分野に関して自己や現代社会との繋がりを意識することで、よりよい社会の実現を目指し、課題を自ら設定、さらに主体的に探究して多面的な考察や理解をおこない、世界や我が国の歴史・文化を尊重することの大切さへの自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本史上の様々な分野において地理的条件や世界の歴史と関連付けながら多面的・多角的な視点から理解することができる。また、諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身につけている。	歴史的事象が起きた要因、また意味や意義、影響や特色などを当時の価値観を鑑みた上で、現代社会とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察することができる。また、歴史にみられる課題を自身で把握して解決に向けて構想したり、説明することができる。	日本史上の様々な分野に関して自己や現代社会との繋がりを意識し、よりよい社会の実現を目指し、課題を自ら設定、さらに主体的に探究しようとしている。また、世界や我が国の歴史・文化を尊重することの大切さへの自覚を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	戦後経済史	・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ ・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	a:アメリカによる占領期から経済大国に至るまでの歴史について、政治史や国際関係などの諸資料から適切に情報を読み取り、戦後日本の経済の発展を理解している。 b:戦後の経済成長が、国民生活や地域社会にどのような変化をもたらしたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:冷戦終結後の世界経済の変化をふまえて、今後の日本経済や国際社会の展開について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント レポート
	古代文化史	・古墳文化の展開 ・律令国家の文化 ・国風文化	a:古代日本の文化について、仏教文化を中心に、東アジアとの関係もふまえて理解している。 b:古墳の副葬品や仏教美術、平安時代の国文学などを学び、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や律令国家の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:仏教が律令国家形成の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント レポート

2学期	中世～近世文化史	・鎌倉文化 ・室町文化 ・桃山文化	a:武家政権の確立や惣村の自治などの観点から、中世日本の文化について、諸資料から適切に情報を読み取り理解している。 b:絵巻や日記などを学び、古代との比較を通して、文化の地方普及や町衆の発達について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:15 世紀から 16 世紀にかけて多発した争乱が、人々の生活や文化にどのような影響を与えたのか、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント レポート
		・江戸経済の発展 ・元禄文化 ・宝暦・天明期の文化 ・化政文化	a:庶民の文化普及という観点から、江戸時代の文化について諸資料から適切に情報を読み取り理解している。 b:浮世絵や工芸品、文学作品などを時期ごとに比較し、為政者との関係や都市の運営の仕組みに着目し、江戸時代の人々の生活について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕政が安定・改革・衰退と変遷する中で、江戸時代の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント レポート

3学期	近代文化史	・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化	a:都市化の進展にともなう市民生活の変化について、衣食住・芸術文化などの諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 B:日本における大衆文化の発展の背景について、政府の政策や社会状況、女性の社会進出などの観点から、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:産業革命や大衆化が進む中で生じてきた問題について、現代社会における問題と比較し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度